

## 小売業の労働災害を防止しましょう！

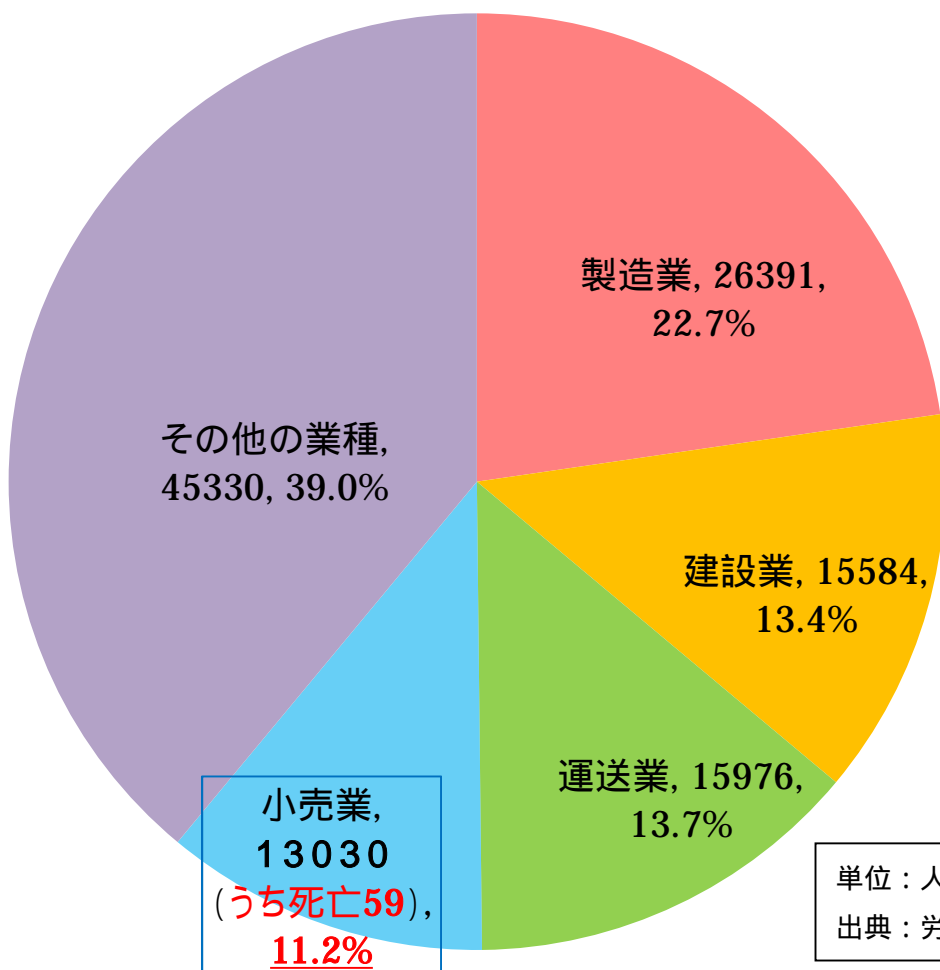
鶴見労働基準監督署

### 小売業における労働災害の現状

**小売業**は、労働災害が少ないと思われがちですが、実は、**全産業の労働災害のうち、1割以上**を占めています！

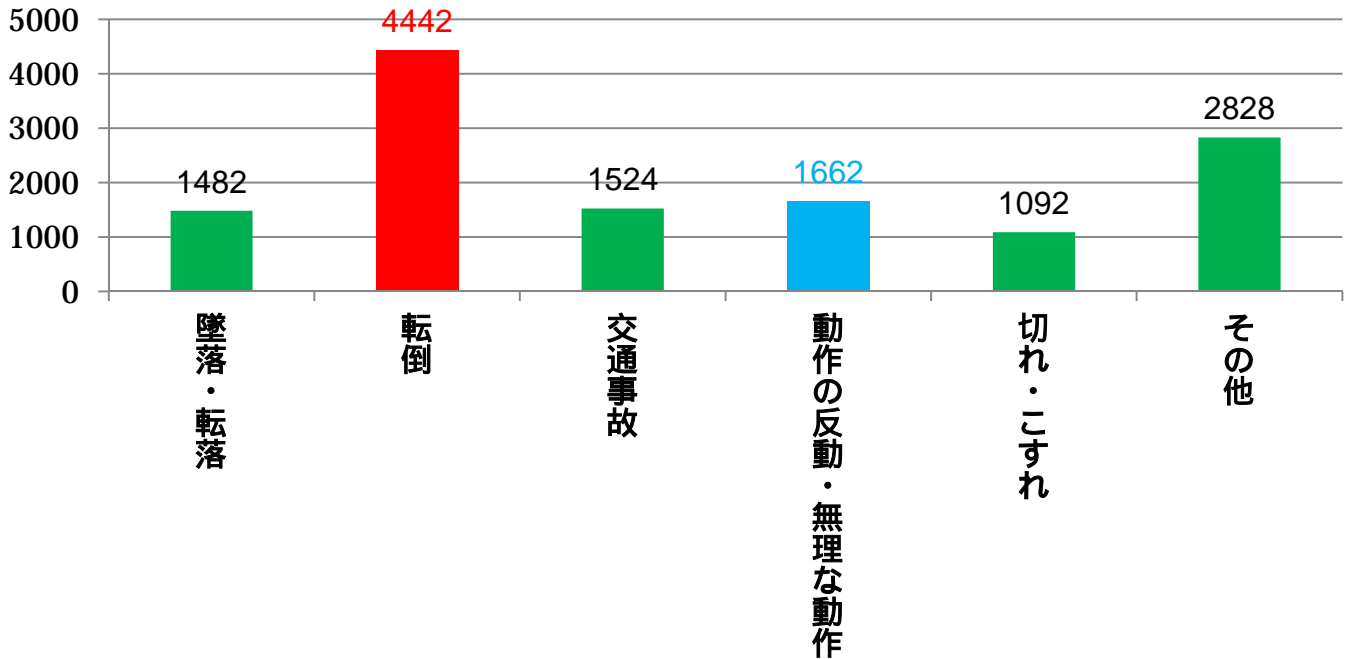


### 休業4日以上の労働災害 (平成27年、全国)



また、事故の型としては**圧倒的に転倒災害が多く**、**動作の反動・無理な動作**（いわゆるぎっくり腰等）も多発しています。

小売業の事故の型別被災者数（平成27年・人）



当署管内における小売業の労働災害事例

番号	業種	被災者 年齢・性別	事故の型	休業日数	発生状況
1	その他の小売業	50代・女	動作の反動・無理な動作	約2週間	在庫整理のため、荷を乗せた台車を引いたところ、腰をひねった
2	各種商品小売業	50代・女	転倒	約1か月	品出しのため商品を売り場に運ぼうとしたところ、スロープの段差でつまずき転倒した
3	各種商品小売業	30代・男	墜落・転落	約1か月	脚立に乗り積んであった商品を取りだそうとして手を伸ばしたところバランスを崩し、後ろに倒れ背中を強打した



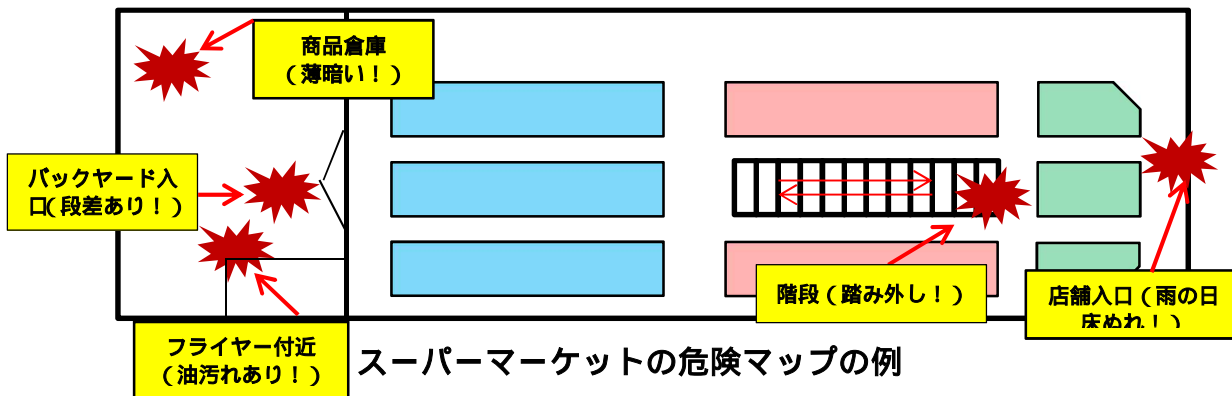
# 小売業の労働災害を防ぐために・・・

- 1 転倒・転落災害防止対策
- 2 腰痛災害予防対策

## 転倒・転落災害防止対策の例

### 危険マップの活用

店舗内外における**転倒危険場所の洗い出し**を行い、従業員に対し周知啓発を図る



## 腰痛予防対策の例

### 正しい姿勢での作業の励行

### 安全教育の実施による労働者への周知啓発

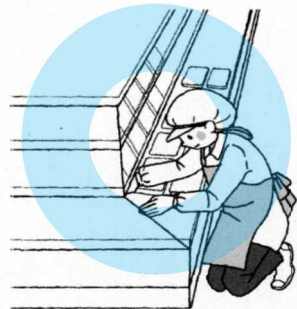
腰の高さで作業



上下動作作業



両膝付き作業



しゃがみ込み作業



より効果的な労働災害の防止対策として・・・

## 安全の「見える化」に取り組みましょう！

職場に潜む危険などは、視覚的にとらえられないものが多いです。それらを可視化（見える化）することで、より効果的な安全活動を行うことができます。これを「見える」安全活動といいます。

「見える化」は、危険の認識や、作業上の注意喚起を分かりやすく知らせることができる、安全確保のための有効な方法です。

「見える化」の例を示しました。小売業の職場においても安全の「見える化」に積極的に取り組み、労働災害防止に努めましょう！！

### 転倒・転落災害防止の「見える化」の例



### 腰痛予防防止の「見える化」の例



写真は厚生労働省「あんぜんプロジェクト」平成27年安全の見える化コンクール応募作品です  
詳しくはHP「あんぜんプロジェクト 見える化」で検索して下さい！



小売業の労働災害防止のための取り組みに御協力を  
御願います！